

沖 縄 州

～正月の夢～

沖縄は昨年、歴史教科書問題、普天間基地移転問題で揺れ動いた。一方、日本社会は、少子高齢化社会と国家の借金の増加という問題をかかえ、財政の縮小、市町村合併、そして道州制へと動いている。その中で、ぜひ単独で沖縄州を目指して頂きたい。

沖縄は本来「琉球国者南海勝地而鐘三韓之秀似……」と、すでに鎌倉時代あるように、黒潮の真っ直中で、南西諸島を連ねている。

沖縄県は、陸域では、約2,255km²と3番目に小さい県だが、排他的経済水域の面積は陸域の100倍以上の経済水域を持つ（日本は陸域の12倍の経済水域450万km²）。東京都や北海道に決して劣らない広大な領域を持つ、海洋国琉球である。今回、奄美諸島を加えて新たな沖縄州となつて欲しい。

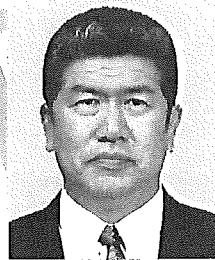
沖縄州は、アジア諸国との最前線地として、海底に眠る地下資源の有用活用、黒潮の豊かな流れを海洋牧場として、アジアの胃袋を満たすだけの可能性を持っている。また、潮流発電の開発もクリーンでCO₂を発生しないエネルギーの確保として大いに期待できる。

2つ目のキーワードは、

日本は資源の少ない島国です。「精密で本物のモノ作り大国」として世界に存在を示してきた。しかし、今社会は、工業化社会からサービス社会へと転換しつつある。特にIT化・インターネット時代となり、情報の世界同時獲得で、完全なボーダレス時代、地球家族時代の突入である。コミュニケーションツールとしての英語は、どうしても必要だ。IT化、ソフトエンジニア育成を考えると、ソフト思考回路が英語バージョンになっているように、英語が日常化する

株式会社
ワールド設計
代表取締役

小林 文男



ことが望ましい。その為には、沖縄県の政策の一つとして、幼児教育から新しい税制を定めてでも、県条例を定め、英会話を取り入れて欲しい。未来の沖縄を考えると、県民すべてが英会話を話せる事が、理想であり夢である。

3つ目のキーワードは、

ハワイが世界のリゾート地になっている様に、沖縄は『アジアのハワイ』となる場所である。モナコやシンガポール等は、世界富裕層の集まる観光地である。沖縄も世界にアピールする為には、琉球文化を県民全体で支え、海洋文化をしっかりと整備していけば、これらの国と同じようなポテンシャルが存在すると思う。世界の最先端を学ぶ大学院大学の存在は、沖縄の中で、医療・教育・科学を変える起爆剤と考える。学ぶ人、教える人、またそれを支える人達と輪が広がっていく。根底に琉球文化を持つ沖縄は、長寿の食材の宝庫でもある。海外からの文化も受け入れながら、チャンプルー文化をさらに発信しつつ、土地の利を生かす。

これらのスパイラル効果でやがて1,000万人の観光客を超えていく事が、私の夢である。

会社概要

社 名: 株式会社 ワールド設計
代表取締役 小林 文男
事業内容: 一級建築士事務所
所 在: 浦添市安波茶1丁目32番13号
沿 革: 昭和54年8月 創業
現在に至る